

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	北海学園大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ホッカイガクエンダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F101310100196
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	北海道
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	人文学部
	担当教職員名・役職	関本真乃・准教授, 谷端 郷・講師
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	4
	受入企業等数	1
	受入企業等名	ソーゴー印刷株式会社(実施主体), 北海道中川町(実習先)
	インターンシップの分類	10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	上川総合振興局内中川町のアウトドア観光の重要拠点であるポンピラアクアリズイングにおいて、屋上未活用スペースを活用した期間限定の「星屑バー」の企画や運営補助を行った。地方自治体における観光振興や、観光商品の企画開発を体験するとともに、現地での就業体験前に広告宣伝の実施、提供コンテンツや役割分担について受入れ企業や地域おこし協力隊と協議を行った。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年
		大学 学部3年
		大学 学部4年
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 1単位	
2-5.上記回答内容に関する詳細	当該プログラムに参加した学生は、専門教育科目「インターンシップ」(2年以上、1単位)の単位認定を申請することができる。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	

要素③	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	キャリア支援センターのガイダンスや、「キャリア・ガイダンス」（一般教育科目）の履修、マナー講座の受講を求めている。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	参加学生に、大学教員、実施主体（ソーゴ印刷）、中川町の3者を交えた成果報告会を開催している。また、インターンシップ参加報告書の作成により振り返りを実施させている。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ期間中に教員が現地（中川町）に赴き、関係者との協議および学生の取り組み状況を視察している。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	成果報告会ならびにインターンシップ参加報告書、事後アンケートで学生の教育効果、満足度等を把握している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	4日（事前ミーティング）+1日（事後ミーティング）
	5-3.上記回答内容に関する詳細	現地実習は10日間で実施した。その前後に、事前ミーティング（約2時間×4回、おインライン）、事後ミーティング（約2時間×1回、オンライン）を実施した。

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	6.企業と協働して、P D C Aを実施している
6-3.上記回答内容に関する詳細	受入れ企業により参加学生に対して評価票を作成してもらい、学生にもフィードバックを行っている。また、インターンシップの全体を通しては、3年計画を立て、年度の終わりに、大学と実施主体（ソーゴー印刷）、中川町の3者で協議を行い、当該年度の振り返りと、次年度以降の方向性について話し合っている。	
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.hgu.jp/research/pdf/collaboration_agreement_02.pdf https://human.hgu.jp/info/20211019-01.html https://human.hgu.jp/info/20210406-01.html	
問い合わせ先	大学等名	北海学園大学
	担当部署名	人文学部
	担当者役職名	講師
	担当者氏名	谷端 郷
	電話番号	011-841-1161（代）
	メールアドレス	tanibata@hgu.jp